



特別展 大内氏の興亡と毛利氏の隆盛

西日本の戦国時代は下関から始まった
― 海峡の戦国史 第1章 ―



平成30年10月20日(土)~12月9日(日)

下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号 Tel 083-241-1080 Fax 083-245-3310

| 開館時間 | 9時30分~17時00分(入館は16時30分まで) | 休 館 日 | 月曜日

| 駐車台数 | 一般26台、身障者用2台

| 駐車料金 | 最初の2時間まで1時間ごとに100円 最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円

| 観 覧 料 | 大人 500円[400円]、大学生等 300円[240円]

※[]内は20名以上の団体料金、また、70歳以上及び18歳以下の方は無料

●重要文化財を含む、多数の下関初公開資料を展示!
●下関ゆかりの人々の肖像画・彫刻を展示!

担当学芸員のオススメ!



関連ミニ講座

<日時> ①平成30年10月27日(土)

②平成30年11月24日(土)

いずれも10:30~11:30

<場所> 下関市立歴史博物館 ガイダンス交流室

※予約不要・参加費無料

大内氏の興亡と毛利氏の隆盛

— 海峡の戦国史 第1章 —

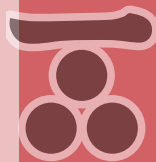


中世後期の下関地域は、大内氏、毛利氏という西日本を代表する戦国大名のもとで繁栄します。14世紀半ばに長門国に進出した大内氏は、重臣を守護代に起用して当地を治めるとともに、赤間関(下関)を拠点に明・朝鮮と通交しました。しかし16世紀半ばに至り、大友氏出身の当主義長が長府で自刃したことで、大内氏は滅亡のときを迎えます。

大内氏に替わり下関地域の統治者となった毛利氏は、赤間関を直轄関とし、大陸から訪れた人々を通じて、海外の物産を入手しました。

本展では、海峡を舞台に繰り広げられた大名の栄枯盛衰や、統治者の交替という歴史の転換点に立ち会った下関地域の人々のたどった軌跡を紹介します。

これらの展示により、激動の時代に生きた人々の息吹を感じ取っていただければ幸いです。



室町幕府に立ち向かった勇将



山口県指定文化財
大内義弘坐像(洞春寺蔵)



模造された日本国王の印章!

期間限定 前期

重要文化財
大内氏勘合貿易印等関係資料
木印 日本国王之印(毛利博物館蔵)

毛利元就を支えた武将たち!



下関市指定文化財
毛利元就御座備図(当館蔵)

雪舟が山口の風景を画いた
といわれる水墨画!



山口県指定文化財
湖亭春望図 雪舟筆(吉川史料館蔵)

中国製の「日本国王之印」の印箱!



期間限定 前期 重要文化財
大内氏勘合貿易印等関係資料
朱漆鎗金印箱(毛利博物館蔵)

大内氏重臣が書写させた歴史書!



期間限定 後期
重要文化財 吾妻鏡
(吉川史料館蔵)

大内氏と毛利氏の決戦を画いた絵図!



期間限定 前期
芸州厳島御一戦之図(山口県文書館蔵)

SHIMONOSEKI CITY MUSEUM OF HISTORY
下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号
Tel 083-241-1080 Fax 083-245-3310
<http://www.shimohaku.jp>

前期: 10月20日(土)~11月18日(日)
後期: 11月20日(火)~12月9日(日)

展示期間については変更になることがあります。

交通のご案内

公共交通機関

JR下関駅 長府・小月・宇部・秋芳・長門・西方面行きバス
(所要時間25分)

バス停「城下町長府」を経由する
「マリンランド」または「下関駅」行きバス
(所要時間約20分)

バス停「長府駅前」から下関方面行きバス
(所要時間約10分)

バス停「城下町長府」(徒歩10分)

自動車
下関IC 堀の浦方面へ進み、国道9号線経由(所要時間約20分)
長府方面へ進み、国道2号線経由(所要時間約15分)

